

令和元年8月9日

芦屋市議会議長
中島 健一 様

視察代表者 福井 利道

行政視察について（報告）

標記のことについて、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 視 察 者 福井利道、松木義昭、川上あさえ、米田哲也、福井美奈子
計5人
- 2 視察日時 令和元年8月5日（月）～8月6日（火）[2日間]
- 3 視 察 先 ①岐阜県岐阜市（8月5日）
②岐阜県美濃加茂市（8月6日）
- 4 視察項目 ①岐阜市
岐阜駅北口駅前広場整備事業について
②美濃加茂市
「あい愛バス」運行事業について
- 5 報告事項 別添のとおり

以 上

令和元年度 行政視察報告書

視 察 日 時	令和元年 8 月 5 日 (月) 13 時 00 分 ～ 15 時 00 分
視 察 先	岐阜県 岐阜市
視 察 内 容	岐阜駅北口駅前広場整備事業について
視 察 目 的 (視察先選定理由)	芦屋市においても都市計画決定がなされ進められている駅前再開発事業について、先行して施策に取り組み成功させている自治体であり、施策の進め方と問題点等を学ぶにあたり妥当であるとの判断をしたため。
調 査 概 要	<p>岐阜市の概要</p> <p>面積 203. 60 km² 人口 408, 970 人 岐阜県県庁所在地にして中核市</p> <p>事業箇所</p> <p>JR 岐阜駅北口にある岐阜市の商業地核要部 鉄道やバス路線の交通結節点</p> <p>岐阜駅前広場整備事業の経緯</p> <p>平成 9 年 JR 岐阜駅新駅舎開業 平成 14 年 岐阜駅北口駅前広場都市計画決定 平成 15 年 土地区画整理事業事業計画決定公告・歩行者デッキ工事着手 平成 18 年 一般車・タクシー乗降場完成 平成 19 年 バス乗降場完成 平成 20 年 連絡通路全区間開通 平成 21 年 岐阜駅東地区第一種市街地再開発事業 岐阜駅北口土地区画整理事業の変更・都市計画決定 岐阜駅北口駅前広場完成 岐阜市岐阜駅前広場条例施行 令和元年 岐阜駅北口駅前広場完成 10 周年</p> <p>事業の概要</p> <p>施工者 岐阜市 施工期間 平成 15 年 1 月 27 日～平成 28 年 3 月 31 日 施工面積 6. 22 ha 総事業費 約 82 億円 (国費約 35 億円) 用途地域 商業地域 筆数 延べ 32 人 減歩率 22. 83% (減価補償金相当額での用地買収後 4. 85%) 公共用地率 45. 7%→48. 4% 開発整備のテーマ「安全で、機能的なまちづくり」</p>

	<p>再開発事業について</p> <p>種類 第一種市街地再開発事業</p> <p>名称 岐阜駅東地区第一種市街地再開発事業</p> <p>施工区域の面積 約 0.5 ha</p> <p>事業費 約 100 億円</p> <p>事業説明を受けて</p> <p>駅前整備は、県都岐阜の玄関口として交通結節点の機能を持たせた市民交流の場を整備する考え方から未来へ向かっての街づくりの礎となるよう計画された。JR 岐阜駅の全線高架化および新駅舎建設に合わせて計画されたため国内でも有数の施工面積を確保し大規模な開発が進められた。</p> <p>バス乗降場やタクシー乗り場を機能的に配置され駅から各施設やビルに連絡通路となる屋根付きの歩行者デッキ（杜の架け橋）を整備している。その中心に賑わい空間の創出を目的に「信長ゆめ広場」を配置し毎週土日はなにかしらのイベントが開催されており年間にして約 80 件、約 18 万人の来場者がある。</p> <p>周辺設備として岐阜らしさを表現した鶺鴒舟の形をしたベンチや岐阜和傘を模した大屋根、市民からの寄付により黄金の信長公の像も配置されている。また、敷地内には約 7000 本の植樹や小川も流れており環境への配慮もなされている。</p> <p>商業機能の有するマンション住宅付きの再開発ビルでは管理組合（地権者やテナント等）の持続可能な運営管理に努め身の丈にあった開発事業とし過度な財政の持ち出しを控えた。また、再開発での公共施設の配置についても、図書館や市民窓口等の他市での配置事例とは一線を画し、岐阜市では敢えて市民が集まる駅前に配置せずに駅から離れた旧市街での再開発に人の集まる公共施設を配置する方針をとられている。</p>
<p>所 感 (意見・感想・ 今後の課題等)</p>	<p>岐阜市の駅前整備事業および土地区画整理事業については、担当職員を 13 人に増配置をして市が主体となって市民の声を聞かれながら両事業を進めてこられていました。芦屋市と違い広大な面積での駅前整備事業ではあるが、基本部分であるコンセプトを一貫して進める事の大変さを感じるとともに市職員の事業に対する情熱も感じられた。</p> <p>駅前再開発ビルのマンション販売については、当初の不安はあったものの好調な販売であったようです。購入者が市内在住者の駅近住み替えやセカンドハウス購入が多く、他市からの呼び込みにならなかったようで、2 棟目の販売の際は他市への宣伝活動を先行させる事により、一定の市外からの人口流入に成功したようです。</p> <p>芦屋市の駅南再開発事業についても基本構想や理念が、ぶれることなく着実に進めていくことが重要であり、手法については市民からの声を聞き反映しながら成功事例や先進して同様な事業展開されている自治体を参考にしていきたいと思います。</p>

令和元年度 行政視察報告書

視 察 日 時	令和元年 8 月 6 日 (火) 10 時 00 分 ～ 12 時 00 分
視 察 先	岐阜県 美濃加茂市
視 察 内 容	「あい愛バス」運行事業について
視 察 目 的 (視察先選定理由)	芦屋市における公共交通の確保として、阪急バス路線等の運行がない地域での導入を検討しているコミュニティバスの先進事例視察。
調 査 概 要	<p>美濃加茂市の概要 面積 74. 81 km² 人口 57, 162 人 岐阜県南部に位置する長良川に面した都市</p> <p>事業目的 平成 12 年度～平成 28 年度 <ul style="list-style-type: none"> ● 車以外でも外出できる ● ふれあいの場となる ● 環境にやさしい 平成 29 年度～ <ul style="list-style-type: none"> ● 通勤や通学で利用できる ● 安心・安全に外出できる ● 健康につながる 「車」文化→「車+バス」文化の定着</p> <p>あい愛バスの経緯 平成 6 年 「福祉バス」運行開始 (65 歳以上の利用) 平成 12 年 「あい愛バス」運行開始 バス 2 台 市街地循環週 6 日運行 (1 日 3 便) 各地区週 2 日運行 (1 日 4 便) 平成 29 年 「あい愛バス」再編運行開始 バス 1 台 ワゴン 7 台 全地区毎日運行 (1 日 8 便)</p> <p>再編時の改正内容 バスの貸与から事業者購入 (予算措置) 週 7 日の毎日運行 料金値下げ (一般 200 円→100 円 小中学生を無料に 障がい者・介護無料) 定期券の発行</p> <p>事業の形態</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">美濃加茂市</div> <div style="text-align: center;">← 補助金 ←</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">岐阜県・国</div> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">運行に関する協定書 (運行管理・負担金・経費補助)</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">A バス会社</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">B バス会社</div> <div style="text-align: center;">← 運賃収入 ←</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">利用者</div> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">道路運送法 4 条許可</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">岐阜県運輸支局</div> <div style="text-align: center;">← 補助金 ←</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">岐阜県・国</div> </div> </div>

	<p>運行に係る経費負担</p> <p>平成 28 年度 運行経費計：25,172,372 円（県補助金：2,829,000 円） 平成 29 年度 運行経費計：88,072,560 円（県補助金：2,098,000 円） 平成 30 年度 運行経費計：118,171,766 円（国・県補助金：22,817,000 円）</p> <p>利用を高めるための対策</p> <p>利用者ニーズに即したダイヤ改正 どこでも乗降区間の新設 料金の値下げ バス停の新設・移設 乗り放題定期券の発行 バスの乗り方教室・車内装飾等のイベントの開催 バス車内周知モニターの設置 バス位置情報サービスの導入 料金のスマートフォン決済の導入</p> <p>利用状況</p> <p>平成 12 年 12,618 人 平成 15 年 28,869 人 平成 20 年 23,274 人 平成 25 年 19,675 人 平成 28 年 15,975 人 平成 29 年 38,390 人 ← バス事業再編見直し年度 平成 30 年 84,759 人</p> <p>事業説明を受けて</p> <p>既存の民間バス事業者の撤退を受け美濃加茂市は当初、福祉センターへの高齢者を対象としたバス運行を開始していたが、市民の公共交通確保の観点からコミュニティバスの運行を開始した。利用者数は多少の増減はあるが 15 年間にわたり微減しており担当部署も利用に対する抜本的な再編を余儀なくされた。そこで平成 29 年に料金値下げだけでなくダイヤ改正・他市の鉄道駅への運行等大規模な再編を実施した。その結果再編前の約 5.3 倍の利用者を確保し市民生活の足としての目的を達成している。</p>
<p>所 感 （意見・感想・今後の課題等）</p>	<p>芦屋市と美濃加茂市では地域の状況が違うもののコミュニティバス運行に向けての背景として全国的な高齢者の社会活動の必要性は同じであり、事業主体は民間運輸事業者であっても施策実施に向けて行政の判断が如何に重要であったか推察できる。また、コミュニティバスの先進市で見られる利用者のじり貧状態を脱却するべく大規模な再編を実施し成功している事例についても参考となった。しかしその分の財政負担については大きくなっており、市民の理解を得られるかどうか重要であり、美濃加茂市全域に運行している当該バスは、その条件を達成していると考えられる。芦屋市においては、補助金を出していない民間バス事業者との協議も必要となってくるであろう事が懸念される。</p>

視察の様子（令和元年度）



視 察 先 ①

8 月 5 日

岐 阜 県 岐 阜 市



視 察 先 ②

8 月 6 日

岐阜県美濃加茂市

